

平成19年度 フッ化物洗口普及モデル事業実施報告

市町村名	市原市	郡市歯科医師会名	市原市歯科医師会
------	-----	----------	----------

実施施設等				
基盤整備	保育所	幼稚園	小学校	中学校
0	5	6	2	0

1. フッ化物洗口に関する前年度までの経緯

平成13～16年度 市委託事業『かかりつけ歯科医機能支援事業』において「フッ化物応用マニュアル」の作成、フッ化物に関する専門職意識調査及び研修会の開催をした。また、フッ化物洗口及びフッ化物歯面塗布実施歯科医院名簿の作成や市保健事業への協力を行ってきた。その後、平成17年に日本大学松戸歯学部小林清吾教授の協力により、私立幼稚園で市内初のフッ化物洗口開始。平成18年度 県「フッ化物洗口普及モデル事業」により3施設がフッ化物洗口を開始し、5施設が基盤整備を行った。本会は、各学校（園） 歯科医師が事業開始にあたり協力をしてきた。

2. 推進体制づくりの経緯

実施事項	具体的な内容	評価
幼児教育研究会	平成19年7月27日公立幼稚園教諭の勉強会において、市歯科衛生士によるフッ化物洗口の効果・安全性・具体的な手技等の勉強会を実施。	公立幼稚園全職員へ情報提供することでフッ化物洗口がスムーズに開始できた。
協力依頼	平成19年9月3日 本会会長から、会員あてに協力文書の発送	会員から事業実施にあたり協力を得ることができた。
フッ化物洗口推進研究会	平成20年1月30日開催 学識経験者、歯科医師会、薬剤師会、市民代表、教諭（校長・養護教諭）、幼稚園教諭（園長・教頭）、教育委員会、保育所保育士（所長）、保育課、保健センター等関係者による研究会を設置。フッ化物洗口実施について経過報告及び今後の課題について意見交換を行った。	フッ化物洗口実施及び普及に関する問題点が浮き彫りになった。今後の推進に向けて関係団体それぞれがどのように取組み、また支援していくことができるか、今後も継続した検討が必要である。

3. 施設における取り組み内容

<p>継続施設</p> <p>①市立鶴舞小学校(毎木曜日:朝の会時実施) 1~6年 141人/148人</p> <p>②市立平三小学校(毎水曜日:給食後実施) 2~6年 26人/26人</p> <p style="text-align: right;">※1年生 在籍0人</p> <p>③市立牛久幼稚園(週5回月~金曜日:給食後実施)</p> <p>5歳児は平成18年度より継続実施 32人/32人</p> <p>4歳児は平成19年度より開始 35人/36人</p>		
実施事項	具体的な内容	評価
継続実施	<p>鶴舞小学校 平成19年4月12日~</p> <p>平三小学校 平成19年4月18日~</p> <p>牛久幼稚園 5歳児 平成19年4月16日~</p> <p>4歳児 平成19年11月5日~</p>	<p>順調に継続できた。平成20年度以降、費用面の確保が課題となる。</p>
<p>歯っぴい講座</p> <p>市歯科衛生士</p> <p>(鶴舞小学校)</p>	<p>①平成19年6月12日 1~6年全児童対象</p> <p>テーマ『フッ化物洗口とむし歯予防、口の健康について』</p> <p>②平成19年11月12日(就学前健診時)</p> <p>平成20年度入学児童保護者対象</p> <p>テーマ『学校で実施するフッ化物洗口』</p>	<p>①児童がフッ化物について理解を深めた</p> <p>②入学前に説明会を実施することで、入学後早い時期からフッ化物洗口が開始できる見込みである。</p>
<p>歯っぴい講座</p> <p>市歯科衛生士</p> <p>(平三小学校)</p>	<p>①平成19年6月15日 2~6年全児童対象</p> <p>テーマ『フッ化物洗口とむし歯予防、口の健康について』</p> <p>②平成19年6月15日(すこやか委員会)</p> <p>保護者・教職員・地域対象</p> <p>テーマ『口の健康づくり』</p> <p>この中でフッ化物洗口に関しても情報提供を行った。</p> <p>※平成20年度新入学児童の保護者へは、養護教諭が就学児健診でフッ化物洗口に関する説明を実施した。市から資料のみ提供</p>	<p>①児童がフッ化物について理解を深めた</p> <p>②保護者の理解を深めることができた。</p>
<p>8020ニコニコ教室</p> <p>市歯科衛生士</p> <p>(牛久幼稚園)</p>	<p>平成19年6月20日 4歳児の保護者への説明会を実施。</p> <p>併せて園児へフッ化物洗口の説明と親子でうがいの練習を実施。その後、園児は夏休みを利用し、各家庭でうがいの練習を実施。</p> <p>希望調査は9月に実施</p>	<p>学年を拡大し4歳児のフッ化物洗口が開始できた。</p>

実施事項	具体的な内容	評価
<p>平成18年度基盤整備実施施設（平成18年度中に保護者説明会を実施した）</p> <p>④市立辰巳台幼稚園（週5回月～金曜日：1クラス給食後実施1クラス登園時実施） 5歳児69人／70人</p> <p>⑤市立惣社幼稚園（週5回月～金曜日：給食後実施） 5歳児70人／70人</p> <p>⑥市立八幡幼稚園（週5回月～金曜日：給食後実施） 5歳児35人／35人</p> <p>⑦市立有秋幼稚園（週5回月～金曜日：登園後実施） 5歳児29人／29人</p> <p>⑧市立千種幼稚園（週5回月～金曜日：登園後実施） 5歳児70人／70人</p> <p>※平成19年度から、市立幼稚園全園が開始となった</p>		
保護者説明会	<p>市歯科衛生士による「8020ニコニコ教室」で保護者へ再度説明会と親子でうがいの練習を実施。その後、希望調査を実施した。</p> <p>辰巳台幼稚園 平成19年6月28日</p> <p>惣社幼稚園 平成19年6月27日</p> <p>八幡幼稚園 平成19年6月22日</p> <p>有秋幼稚園 平成19年6月25日</p> <p>千種幼稚園 平成19年6月29日</p>	親子でうがいの練習ができたことで、不安の解消につながった。また、再度説明会を実施することで十分に理解を得ることができた。
フッ化物洗口開始準備	<p>希望により、各園の職員勉強会やフッ化物洗口実施の支援を行う。</p> <p>辰巳台幼稚園 平成19年8月27日職員打ち合わせ : 市歯科衛生士</p> <p>惣社幼稚園 平成19年8月27日職員打ち合わせ : 市歯科衛生士</p> <p>八幡幼稚園 平成19年10月12日フッ化物洗口液作成支援 : 園歯科医師</p> <p>有秋幼稚園 平成19年8月27日職員打ち合わせ : 市歯科衛生士</p> <p>千種幼稚園 平成19年8月20日職員打ち合わせ : 市歯科衛生士</p> <p>平成19年8月21日園長打ち合わせ : 市歯科衛生士</p> <p>平成19年10月1日職員打ち合わせ : 市歯科衛生士</p> <p>フッ化物洗口液の作成支援 : 市歯科衛生士</p>	不安なく開始するための支援ができた。
フッ化物洗口開始	<p>辰巳台幼稚園 平成19年10月2日 洗口初日支援: 園歯科医師</p> <p>惣社幼稚園 平成19年10月5日 洗口初日支援: 園歯科医師・市歯科衛生士</p> <p>八幡幼稚園 平成19年10月15日 洗口初日支援: 市歯科衛生士</p> <p>有秋幼稚園 平成19年9月18日</p> <p>千種幼稚園 平成19年10月2日</p>	事前準備及び確認、連絡が十分にできていたため、問題なく開始できた。
公立幼稚園 平成20年度事業 検討会	平成20年1月21日 公立6幼稚園の園長（教頭）と市歯科衛生士が出席。フッ化物洗口の実施状況報告及び次年度以降の継続に関する検討をした。	事業の継続や経費対応について検討できた。

新規施設		
	⑨三和保育所（週5回月～金曜日：給食後実施）	5歳児 17人／17人
	⑩鶴舞保育所（週5回月～金曜日：午前実施）	5歳児 7人／7人
	⑪里見保育所（週5回月～金曜日：給食後実施）	5歳児 10人／10人
	⑫辰巳保育所（週3回月水金曜日：給食後実施）	4歳児 40人／40人
	※今後週5回に回数を増加させる予定	5歳児 43人／43人
	⑬今津保育所（週5回月～金曜日：給食後実施）	4歳児 21人／21人
		5歳児 24人／24人
実施事項	具体的な内容	評価
保育所所長会議	平成19年10月11日 市歯科衛生士から市原市のむし歯の現状、フッ化物洗口の普及状況及び安全性と効果について説明のうえ、保育所でのフッ化物洗口実施希望施設を募った。	費用面や実際の実施方法も含めて、次年度以降継続可能であることを前提に、実施施設の募集ができた。
実施希望施設打ち合わせ	平成19年10月29日 所長・保育課・市歯科衛生士で具体的な進め方や平成20年度以降の費用負担、職員の異動に伴う引き継ぎなどの問題点の検討を実施。	開始までの準備、進め方に共通認識を持つことができ、また次年度以降の継続の見込みができた。
合同研修会	平成19年12月8日 三和保育所に隣設する三和保健福祉センターでフッ化物洗口開始施設を中心に、市内保育所保護者・保育所職員・保育所歯科医師を対象に、小林清吾教授による合同説明講演会を開催。 ※三和保育所 保護者説明会及び職員研修会を兼ねる。	関係者間の共通認識を図ることができた。またフッ化物洗口開始施設以外の保育所職員。教諭の参加もあり、基盤整備にもつながった。
保護者説明会	各保育所を会場に実施 三和保育所 平成19年12月21日 保育所歯科医師 鶴舞保育所 平成19年12月14日 保育所歯科医師 里見保育所 平成19年12月12日 小林清吾教授 辰巳保育所 平成20年1月17日 保育所歯科医師 今津保育所 平成20年1月18日 県歯科医師会 学校歯科保健委員会 副委員長 馬場歯科医師	保護者の理解を得た上で希望調査ができた。
職員勉強会	三和保育所（合同研修会に職員が全員参加） 平成20年1月8日 所長・市歯科衛生士打ち合わせ 各保育所を会場に市歯科衛生士が実施 鶴舞保育所 平成19年11月26日 里見保育所 平成19年11月29日 辰巳保育所 平成19年12月19日 今津保育所 平成20年1月24日	職員の理解と共通認識ができた上で実施に向かうことができた。

フッ化物洗口 開始	三和保育所 平成20年1月15日 鶴舞保育所 平成20年1月30日 里見保育所 平成20年1月18日 初日支援: 保育所歯科医師・市歯科衛生士 辰巳保育所 平成20年2月4日 今津保育所 平成20年2月4日 平成20年2月7日支援: 保育所歯科医師・市歯科衛生士	事前準備や確認連絡が十分にできていたため、問題なく開始できた。
職員への 情報提供	平成20年2月15日 保育所職員研修会において今年度のフッ化物洗口の実施状況報告とフッ化物に関する資料の配布。	公立保育所職員を対象に、異動の際に混乱が生じないよう情報提供できた。

4. 問題となったこと・今後の課題とその対応について

学校でのフッ化物洗口開始施設の増加が今後の課題である。フッ化物洗口の効果や安全性について関係者間の十分な理解を得て、実施施設の継続や新規開始施設の増加につながるよう関係機関との連携を深めていきたい。

また、今後補助事業が継続しなければ、費用面や学術的な情報提供等の支援の継続が難しくなり現在実施施設の継続にも問題が生じることも考えられる。県歯科医師会に対しても、学校(園)歯科医の資質の向上のため研修会の開催や資料の提供など継続支援を要望したい。また、県・市・教育委員会などが予算面での対応を検討してほしい。

5. 20年度以降の事業の予定・市町村事業としての予算化の有無

市歯科医師会として現在、フッ化物洗口を実施している施設については継続できるよう支援を続けていきたい。また、学校歯科部会として学校(園)歯科医師の活動を支援するため研修会の予算を要望していきたい。

市原市では市の予算として、フッ化物洗口推進研究会の予算化を要望しているとのことである。研究会への参画は継続していきたい。

6. 活用した参考文書や文献

名称	概要	活用場面	費用や入手先等
・フッ化物洗口マニュアル (千葉県・千葉県歯科医師会)	フッ化物洗口に関するマニュアル	実際の手順等の手引き 説明会資料	県歯科医師会ホームページよりダウンロード
・フッ化物でつくろう! むし歯のない丈夫な歯	フッ化物に関する資料	説明会・研修会資料	県・県歯科医師会 提供
・フッ化物でむし歯予防	フッ化物に関する資料	説明会・研修会資料	県歯科医師会 提供

7. 記録写真等

三和保育園



辰巳保育園

